

精神障がい者リハビリテーションフォーラム

地域定着に支援必須

精神障がい者が地域で暮らし定着するための取り組みについて考える、「精神障がい者リハビリテーションフォーラム」が9日、那覇市の県立博物館・美術館で開かれた。



登壇者が、精神障がい者が地域で生活し定着するための支援について発表した。那覇市・県立博物館・美術館

谷中さんは1970年、埼玉県大宮市現・さいたま市に、精神障がい者が地域で定着するための支援や職場を開拓する「やどかりの里」を開設した。

当事者の力生かせる場を

精神障がい者の社会生活を支援する、NPO法人「ふれあいセンター」理事長の儀間光徳さんは、自身も病気を発症したが、支援を受けたことで社会で生活し、支援する側として活動している。

トラムでまちづくり



フランス事例に 藤井さん講演

フランスの新たな公共交通導入を提言している沖縄経済同友会地域・経済活性化委員会は8日、トラム(新型路面電車)を導入し、先進的なまちづくりを取り組むフランス・ストラスブールに詳しい、ビジネスコンサルタントの藤井由実さんを迎え講演会を開いた。

レインボーアライアンス沖縄の砂川秀樹さん

セクシュアルマイノリティ(性的少数者)が生きやすい社会づくりを目指す「レインボーアライアンス沖縄はうなひフェスティバル」が、代表の砂川秀樹さん(44)はジェンダーやセクシュアリティを研究する文化人類学者。



すなわ・ひでき 1966年生まれ、那覇市出身。東京大学大学院で文化人類学で21年間HIV・AIDSの民間活動にも従事、厚生労働省の研究調査に関わる。現在、東大大学院総合文化研究科学術研究員。

性的少数者の理解促す

「レインボー」とは。「LGBT(レスビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー)などの性的少数者が生きやすい社会を実現するため、当事者だけでなく、賛同する支援者が一緒に活動する団体。『レインボー』は世界的に性的少数者の象徴。性というのはクラクションで多様な意味が込められている。4月に沖縄に拠点を移し、会を発足したばかり。今回が初めての活動」

「実行委員会から声を掛けていただいた。うなひは沖縄を代表する女性活動の一つ。草の根的な活動をしてきた人たちが、いろんな実感を持ってきて立ち上げてきた運動で、興味があった。ジェンダーの問題は、性的少数者の問題でもある。参加できて良かった」

紙面に関するご意見や情報をお寄せください。電話098(860)3553、ファクス098(860)3484、メール kurashi@okinawatimes.co.jp

貧血防止に鉄分摂取

人が1日に失う鉄分は約1mg。月経のある女性の場合にはさらに1日当たり0.5〜1.0mgの鉄が失われ、補わないと貧血になります。

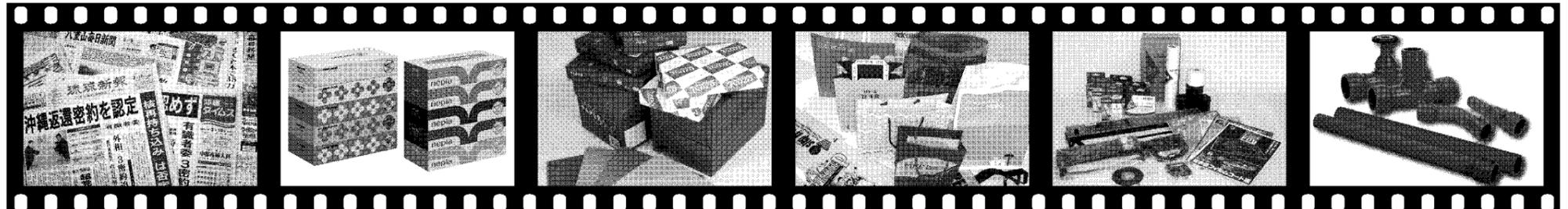


津波 ヒロ子

父が他界して20年。守備で働いていたの古い目覚まし時計が出てきた。忘れ形見である時計は止まり、薄くなった文字で名前が書かれている。偉大な父を思い出した。

父の目覚まし時計

幼いころから、働きつめの父の大きな背中を見て育った。今では、総勢60人近くの大家族である。お父さんの器の広さは、私たちの自慢です。日々感謝の心で頑張っています。偉大な父上様の目覚まし時計、大切にします。「亡き父の、手の形に似るわが手なり、太く大きくぬくもりあり」。 (諏訪村、59歳)



おかげさまで60年

福山商事株式会社

代表取締役社長 福山俊行

〒901-2556 沖縄県浦添市牧港四丁目14番17号 TEL(098)876-1111 FAX(098)876-4094

